

第3 授業計画と履修要件、学修支援等

1 AMC学修成果ルーブリック

規準		尺度		期待以上である	満足できる	努力を要する
① 知識	A	身体	身体の健康を理解し、説明することができる。	身体の健康に関する知識を十分に理解し、健康生活のための維持・増進の説明だけでなく、生活の健康を把握した身体への健康の価値についても説明することができる。	身体の健康に関する知識を理解し、健康生活のための維持・増進、また疾病予防や対処法も含めて具体的に説明することができる。	身体の健康に関する知識は持っているが、理解が不十分のため、健康な生活や対処法も含めて説明することができない。
	B	心	心の健康を理解し、説明することができる。	心理学についての基礎知識や背景について自律的に理解し、多様な社会の中で養育する人間の心の健康に心理学的な見解をもつて、対処する仕方について説明することができる。	心理学についての基礎知識や背景について理解し、人間の心の健康にそれらがどのような影響を持っているかを説明することができる。	限定された心理学についての基礎知識や背景について理解しているが、人間の心の健康にそれらがどのような影響を持っているかを総合的に説明することができない。
	C	社会	多様な人々が暮らす社会を理解し、説明することができる。	日常生活において価値観や文化的・社会的背景の違いによってもめ事や摩擦などが生じる過程について理解し、それらに対応できる制度等について説明することができる。	様々な社会問題と人々の多様な価値観や背景について理解し、それらがどのように影響を及ぼしているかを説明することができる。	世の中に様々な価値観を持つ人がいることを理解しているが、その相違と背景、多様な個人が全体として一つの社会を形成していることを説明することはできない。
② 汎用的技能	A	コミュニケーション	コミュニケーションスキルを身につけている。	相手と自分の意見を調整しながら、お互いが納得できる結論が得られるよう建設的に話し合いを行うことができる。	相手の話の論点を理解し、自らの発言の内容及構成を工夫しながら分かりやすく意見を述べ、会話を発展させることができる。また、日常レベルの簡単な外国語を理解し使用することができる。	相手に伝えたい内容を正確に伝え、理解してもらおうようにするが、意見が十分に述べられない。
	B	情報	情報リテラシーを身につけている。	目的を達成するために情報機器や情報ネットワークを活用することができる。情報の信憑性や妥当性、価値などを評価することができる。また、情報を活用する倫理等を理解している。	パソコンやソフトウェア及びインターネットを有効に活用することができる。情報の取捨選択や価値付けができる。	パソコンやインターネットを通して必要な情報を探し出し集めることができる。取捨選択したり整理したりすることや、価値付けすることがうまくできない。
	C	P D C A	目標をかかげ、計画を立てて実行し、振り返り、改善することができる。	自律的に、組織的に目標をかかげ、計画を立てて実行し、客観的なデータを基に振り返り、改善することができる。	自律的に、個人的な目標をかかげ、計画を立てて実行し、振り返り、改善するサイクルを繰り返すことができる。	周りの人の支援を受けながら、かかげた目標を達成すべく、計画を立てて実行し、振り返り、改善することができる。
③ 態度・志向性	A	自己管理	自分の健康づくりに向けて自ら考え、積極的に行動することができる。	自分の理想的な心身状態や社会における在り方を思い描き、心身面、社会面の現状を分析して、課題を見出し、解決策を積極的に実行することができる。	自分の精神的・身体的な状態や社会における在り方について理想を思い描き、それを実現すべく行動することができる。	自分の心や体の健康状態を良好に保つことができ、継続的に行動することができる。
	B	チーム	健康な組織・集団の構築に向けて、チームワークを大切にし、リーダーシップを発揮することができる。	仲間と自分の役割や考え方を大切にしながら協力的なコミュニケーションを取りながら協力・協働して物事に取り組む。組織の成長につなげることができる。	仲間と自分の役割や考え方を把握し、組織の目標達成のために自らがどのように振る舞えば効果的か判断して取り組むことができる。	組織の目標達成のために割り振られた自分や仲間の役割を理解してはいるが、状況に応じて自ら判断して仲間を支援する行動をとることができない。
	C	使命感	地域や家庭の健康について関心や使命感を持ち、改善の提案ができる。	地域や身近な人の心身の健康状態や社会的な在り方について、課題を共有することにより、課題を捉え、課題解決に向けて行動することができる。	身近な人の心身の健康状態や社会的な在り方が良好であるか、困難はないかなどに気を配り、改善策を提案することができる。	身近な人の心身の健康状態が良好であることを願って、健康増進策を提案することができる。

<p>健康に関する社会貢献活動や地域活動に参加することがある。</p>	<p>これまでの学修によって得られた知見を基にして、自らが理想とする健康な社会の実現に関する意見は持っているが、具体的な提案には至っていない。</p>	<p>身体と疾病に関する基礎知識を有しているが、社会的に身体と心の健康づくりをサポートするにはまだ不十分である。</p>	<p>保健体育や健康づくりに関する知識・技能を有しているが、実践力が十分にない。</p>	<p>「心」についての科学的な知識を部分的に修得しているが、心の健康を育成・発展させる実践力はまだまだ育たず、総合的に活用して、健康な社会の実現のために課題を発見し、解決方法を探索することが限定的である。</p>	<p>社会には多様な人間が存在し、それぞれ独自の価値観（文化）を持つこと、人間の集合体である社会もそれぞれ独自の文化（価値観）を持つこと、世界はこのように多様な社会から構成されていることを理解することができる。</p>
<p>ボランティア活動や地域活動等において、対象者や参加者に対して健康であることの意義を語るることができる。</p>	<p>誰もが精神的・身体的・社会的に良好な状態であるような社会を実現するために、新しい取り組みを提案したり、改善策を打ち出したりすることができる。</p>	<p>身体と疾病に関する基礎知識を有し、社会的に身体と心の健康づくりをサポートすることができる。</p>	<p>保健体育や健康づくりに関する知識・技能を有し、総合的に健康づくりをサポートできる。</p>	<p>「心」についての科学的な知識を修得し、心の健康を育成・発展させる実践力を持って、総合的に活用して、健康な社会の実現のために課題を発見し、解決方法を探索することができる。</p>	<p>人間を広く理解し、豊かな教養を身につけ、健康な社会生活の実現に貢献できる。</p>
<p>ボランティア活動や地域活動等において、心身面や社会面で健康であることを意識を語り、共感を得て、活動を展開していくことができる。</p>	<p>健康な社会の実現に向けて、現状を分析した上で、課題を解決するアイデアを、実行可能なかたちで示すことができる。</p>	<p>身体と疾病に関する基礎知識を活かし実践活動へと発展させることができ、リーダーの役割を担う力を有し、周囲の人々の身体と心の健康づくりをサポートすることができる。</p>	<p>保健体育や健康づくりに関する知識・技能を活用できる実践力があり、リーダー的な存在として健康づくりをサポートできる。</p>	<p>「心」についての科学的な知識を自律的に修得し、「心の健康」を育成・発展させる多様な実践力を持っている。それらを総合的に活用して、リーダー的な存在として健康な社会の実現のために課題を発見し、解決方法を探索することができる。</p>	<p>健康な社会は、そこに生きる多様な人びとが心身的に健康であると言っただけでなく社会的に等しく意味のある存在だと認識されたい社会であること、自分が多要素からなる社会の一員であること、それを理解し、社会全体が健康な状態であるよう困っていない状況にある人びとをそうでないう状況になるよう手助けすることができる。</p>
<p>社会貢献や地域活動を通じて、健康の意義を社会に広めていくことができる。</p>	<p>健康な社会の実現に向けて、創造的なアイデアを持つことができる。</p>	<p>身体と疾病に関する基礎知識を有し、身体と心の健康づくりをサポートできる。</p>	<p>保健体育や健康づくりに関する知識・技能を有し、健康づくりをサポートできる。</p>	<p>「心」についての科学的な知識を修得し、「心の健康」を育成・発展させる実践力を持っている。</p>	<p>人間を広く理解し、豊かな教養を身につけ、健康な社会生活の実現に貢献できる。</p>
<p>A 広める</p>	<p>B アイデア</p>	<p>養護・保健</p>	<p>健康サポート</p>	<p>C 心理・カウンセリング</p>	<p>人間科学</p>
<p>④ 総合的活用</p> <p>修得した知識、技能、態度的に活用して、健康な社会の実現のために課題を発見し、解決方法を探索することができる。</p>					